



第24回

# たぶん ～かも。

～英語の「たぶん」～

## 学習のポイント

- mayを使って曖昧に表現できる
- probably, perhaps, possiblyを使って推測できる

英語監修・執筆 鳥飼慎一郎

## ■コミュニケーション

世の中にははっきりと断言できることばかりではありません。「おそらく～だろう」「たぶん～ではないだろうか」「そうかもしれない」など、断定できないことが数多くあります。

明日や明後日の天気一つをとっても、確実に晴れる、雨が降る、と断定できるものではありません。「諸行無常」、全ての物事が常に変化している、それが私たちが住んでいる世界なのであり、すべてが不確実な中で存在していると言ってもよいでしょう。英語の世界でも同じです。

例えば、きらきら輝くガラスのような石を見て、「ダイヤモンドだ」と断定する表現は、

**This is a diamond.** (これはダイヤモンドです)

と言えますよいのですが、そこまで断定できずに迷っているときには、**may**を使って表現できます。

**This may be a diamond.** (これはダイヤモンドかもしれない)

この**may**を使うことで、話し手が「そうであるかもしれないが、そうでないかもしれない」と自分の判断に確信が持てない気持ちを表現することができます。この**may**は、**will**や**can**と同じで、**is**を元の形の**be**に変える必要があります。

この**may**は、推測を表す以外に相手から許可を求めたり、相手に許可を与えたりするときによく使います。

例えば、友達の辞書を使わせてもらうときに、

**May I use your dictionary?** (辞書を使ってもいいですか?)

と聞けばよいのです。仮にこのように聞かれて、「いいですよ」と言うのであれば、

**Yes, you may use it.** (どうぞお使いください)

となります。このやり取りはかなり丁寧なやり取りです。もう少しカジュアルな感じで言うのであれば、**may**の代わりに**can**を使って、

**Can I use your dictionary?** (辞書使ってもいい?)

と聞けばよいでしょう。

そう聞かれたら、

**Yes, you can.**

と答えるのが定型ですが、もっとカジュアルに、

**Of course.**

**Why not?**

Go ahead.

などと言ってもよいでしょう。

### ■単語や表現

確信が持てないときには、**probably, perhaps, possibly**などを文の中で使って表現することもできます。遠くに人影が見えてきたとしましょう。確実に、「あれはフィリップだ」というのであれば、

**That is Philip.** (あれはフィリップです)

となります。もしもフィリップの可能性が高い、おそらくフィリップであろう、と言うのであれば、

**That is probably Philip.** (おそらくフィリップであろう)

となります。フィリップである可能性が半分くらいならば、

**That is perhaps Philip.** (フィリップかもしれない)

と言えばよいでしょう。フィリップの可能性が低い場合には、

**That is possibly Philip.** (もしかしたらフィリップかもしれない)

と表現します。もちろん、**may**を使って表現しても同じように不確実性を表現することができます。

**That may be Philip.** (あれはフィリップかもしれません)

この**probably, perhaps, possibly**は、**may**と違って**is**を元の形の**be**に変える必要がありません。自分の確信度に合わせて使ってみるとよいでしょう。

### ■英語のきまり

「明日雨が降ります」という断定の表現は、

**It will rain tomorrow.** (明日雨が降ります)

となります。もしも「明日雨が降るかもしれません」と表現したいのであれば**may**を使えばよいのですが、**may**と**will**を両方一緒に使うことはできません。どちらか1つしか使えませんので、

**It may rain tomorrow.** (明日雨が降るかもしれない)

となります。このことからわかるように、**may**は今だけのことではなく、これからのことについても使えます。

面白いことに、**probably, perhaps, possibly**は**will**と一緒に使うことができます。

**We will probably have snow next week.** (来週おそらく雪が降るでしょう)

**Ryo will perhaps win a gold medal in the 100 meters.**

(亮は100メートルで金メダルを取るかもしれない)

**The same kind of accident will possibly happen again.**

(同じような事故がまた起こる可能性がもしかしたらあるかもしれない)

などとして使います。

column

単語を発音してみよう ⑨

early  
hurt  
bird  
work



これらの4つの語は下線を引いた部分のスペリングは全て違いますが、発音は皆同じです。唇を丸めて少し突き出すようにして、舌先を立てて引っ込めながら発音します。そのときに絶対に舌先をどこにも付けません。口の中でこもったように響く柔らかい音が出ます。それがこの音です。

この音は、前回取り上げた cap, cab, bat, bad, back, bag の真ん中の **a** の音とよく比較されます。アの音を出す口の形をしてエと発音すれば上手に出せることは述べましたが、**a** の音はそれほど意識して口を開けて強く発音して出す音です。

一方、今回取り上げる音は口をそれほど開けずに、口の中で響かせるようにして出す音です。このコントラストがうまく出せるようになると、英語の発音が格段によくなり、通じやすくなります。

Handwriting practice area consisting of multiple horizontal dotted lines for writing.